

第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師
 プレイズ: 郭永東牧師
 ライブ配信: 伊禮信義先生



前奏			
頌栄	540	会衆	会衆
主の祈り			
プレイズ	「主イエス様はぶどうの木」 「注ぎたまえ主よ」	会衆	会衆
聖書朗読	使徒言行録 1:1~5 (新約聖書 p213)	司会	司会
祈賛	164	司会	会衆
メッセージ	「ペンテコステへの備え」	司会	牧師
祈賛	225	司会	牧師
献金			
報告		司会	司会
頌栄	新生672b	会衆	会衆
祝		司会	牧師



第二礼拝次第

メッセージ: 伊禮信義先生

メッセージ: 「主に命じられた務め」

聖書: エゼキエル書 3:16~21(旧約聖書 p.1299)

プレイス: 「感謝と喜びを」

「イエスその御名は」

賛美: 新生447 新生437



ファミリー礼拝

聖書: ルカ 10:25~37

メッセージ: 「よいサマリア人のたとえ」

<巻頭言>

「失われたリスト」

渡真利彦文牧師

ロシア革命前夜のユダヤ人迫害を背景に、ウクライナのユダヤ人一家の生活を描いたミュージカル「屋根の上のバイオリン弾き」は見た映画の中でも傑作ですが、「シンドラーのリスト」も感動を超えた衝撃的な映画でした。

「シンドラーのリスト」は第二次世界大戦時にドイツによるユダヤ人の大量虐殺(ホロコースト)が実際にあった出来事を基にした映画です。ドイツ人オスカー・シンドラーは、人間として誇りと良心にかけて、ナチスの手から1000人を超すユダヤ人をたった一人で救い出しました。

シンドラーは決して聖人君子でもなく道徳家でもなく、賄賂で抜け目なく稼ぐ実業家でした。しかし、ナチス党員であったシンドラーは、日を追ってエスカレートしていくユダヤ人への迫害、残虐行為を目にし、皮肉にもナチスに儲けさせてもらった莫大なお金を、ユダヤ人を救うことにつき込んでいきました。シンドラーの救出リストには1200人のユダヤ人が名を連ねていたのです。

終戦を迎えた時、自分が救ったユダヤ人を前に、シンドラーは嗚咽しながら「この車を売ったら、あと10人救うことができた。この胸の金バッジを売れば、あと二人救えた」と言って泣き崩れました。

その場面を思い返しながら、私たちの伝道に対する姿勢を考えさせられました。失われた人のリストをどれほど持っているでしょうか。失われている人々は地獄へ行きます。私たちは失われた父母、友人知人、子どもたち、そしてすべての人々の救いのために、どれほど伝道し、祈り、そして財や時を捧げているでしょうか。